

災害時における 動物保護を考える

ペットと一緒に避難するには、ご家庭でどんな準備が必要か、
地域としてふだんからどんな取り組みをすべきなのか？

いざという時にあわてないために今から備えましょう！東日本大
震災、熊本地震の際、現地に入られた3人の先生方が 実体験を
もとに語り、みなさんの疑問にお答えいたします

開催日：2017年7月23日（日曜日）

13時～15時30分

会場：帝京科学大学 千住キャンパス

本館 3階 1311教室

参加費：無料（事前登録不要）

アクセスは以下の大学ホームページをご覧ください

<http://www.ntu.ac.jp/access/senju/index.html>



パネリスト（敬称略）

- 船津敏弘（動物環境科学研究所 獣医師）：熊本地震の際、VMAT（災害派遣獣医療チーム）を結成し救護活動に従事する
 - 亀田由香利（（公財）仙台ひと・まち交流財団片平市民センター・片平児童会館館長、獣医師）：東日本大震災の際、動物管理センター所長として、動物の保護にあたる
 - 今本成樹（新庄動物病院院長、獣医師）：東日本大震災の警戒区域に入り、動物の保護・救護にあたる
- 司会
- 佐藤衆介（帝京科学大学教授、仙台市動物愛護協議会会長）
：東日本大震災原発事故警戒区域内のウシの保護活動に携わる



共催 ヒトと動物の関係学会第114回月例会
帝京科学大学 アニマルサイエンス学科

連絡先：濱野佐代子（帝京科学大学, HARs学術委員）

*同時に「アニマルラブフェスタ 2017 IN TEIKA」

（帝京科学大学 アニマルサイエンス学科主催、足立区後援）を開催（10時～16時）。こちらも入場無料です。どなたでもご参加ください。

問合せ先：帝京科学大学 アニマルケアセンター

Email：animallovesta2017@gmail.com